

# タ リク プレストン 米国出身の元キリスト教徒

:

明:米国人の医学生によるイスラ ム改宗。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: タ リク プレストン

日 1 Sep 2015

集日 21 Sep 2015



私の名はタ リク プレストンです。私は1988年に19歳にイスラ ムに改宗しました。

私の改宗 は いもものではありませんし、多くの面では私の改宗 、いかにアッラ (神) が私を き けてくれているかという逸 の方が 起を促すものだと思います。

いずれにせよ、私の自己 介からこの改宗 を始めようと思います。私は生まれた からタ リクと名付けられました。60年代から80年代にかけて、米国人がアフリカ人の名前を付けることはそれほど珍しいことではありませんでした。そして彼らが付けたアフリカの名前の多くはイスラ ムの名前であり、私のケ スもそれに当てはまります。

私は改宗前の人生を通して、タ リクという名前を持つ他人と会ったり、私の名前の意味の重要性を知る人から、こわ われたりしました。「君の名前がどういう意味が知っているかい？」私はその意味を教えられていたので、 らしく答えたものです。「『光

りく星』という意味だよ。」

そしてには、西711年にスペインを征服した有名な人物、タリクブンズィヤドの逸を付け加えたものでした。

皮肉なことに、私は自分の名前の重要な事について知っていながら、に大学生になるまでイスラム的な意を知らませんでした。

私は16で大学に入学し、当は医になろうと医学部学程／生物学を攻めました。そうした重大な任を持つには、人生においてうべき良いが必要だと付きました。

大学1年のときにバイブルをんではみたものの、キリスト教は不可解なものでした。

胞生物学のくべきさを学んでいた、私とクラスメートの何人かが造主への信仰、一部の科学者たちが推するように生命の起源が偶然による生ではないということを再しました。

春休みの、私はとてもしかった祖母と神学的なをしました。彼女がキリスト教徒でありながらした次の言に、私は注目しました。

「私は神を崇めるのであり、イエスを崇めているわけではありません。なぜなら神を崇める方が安心感を感じるからよ。」彼女はイエスの名において祈るのではなく、神のみへ祈りを捧げるよう忠言したのです。

その会のに大学へった、私は教えられていたように、寝る前に祈りを捧げけました。ただしイエスの名においてではなく、神のみへと直接祈るようになったのです。

その断をしたは、ベッドで寝ながら祈ることに罪の意を感じ始めました。なので、ベッドの横でひざまずいて祈るようにすると、多少心が安らぎました。

依然として人生におけるきを探していた私は、ある日大学のキャンパスできながら神へのきを求めました。

大学2年のとき、イスラ ムに改宗した同 生が、私がキャンパス内で いているのを つけ「  
????????????

（あなたに平安がありますよう）」と挨拶してきました。1970年代にシカゴで育った  
私はその挨拶を何度も耳にしていたので、「????????????」と返事しました。

すると彼は私がムスリムなのかどうか ねてきたので、「いや、ユナイテッド メソジス  
トだ」と答えました。彼は言いました。「あ！君の名前はタ リクなので、ムスリムだ  
と思ったよ！」

その出会いからそう たないうちに、私がクラスメ トの何人かと一 に参加していた学 会  
に彼が れ、私たちにイスラ ムについて 介し始めました。彼はとても若く、彼自身イス  
ラ ムに改宗して もなかったため、彼はあまりイスラ ムについての知 はありませんでし  
た。それでも、彼はマリアの子であるイエスの崇 の危 性について警告しました。

もちろん、そうした主 は いたことのあるものでしたし、私はイスラ ムについて殆ど知  
らなかったものの、友人は改宗 に非常に特 的な装いと振る舞いをするようになったた  
め、ムスリムの外 がどのようなものかを学ぶことができました。

その年の夏休みに 家に ったとき、私はテレマ ケティングのアルバイトをし、そこでア  
フマドというムスリムに会いました。彼はプエルトルコ人の改宗者であったにも わら  
ず、大学にいた友人と同じ特 的な装いと振る舞いをしていたため、こう彼に ねました  
。「あなたはムスリムですか？」

彼は微笑んで言いました。「そうだよ、タ リク。君は？」

私は答えました。「いえ、私はユナイテッド メソジストです。」

彼は苦笑いをして言いました。「タ リクという名前を持っているなら、ムスリムであ  
るべきだよ。」

彼は私にタウヒ ド（神の唯一性）について し始めました。私はイスラ ムにおける一神  
に心を打たれました。

やがて私は彼の自宅に招かれ、クルアンの英訳をせてもらいました。彼がその本にして  
せた敬意にととても感 じた私は、それを むために してくれるよう みました。彼はそのク  
ルア ン一 しか持っていないなかったため、しぶしぶ承 しながらも、その本には敬意を い、  
家の中の一番良い 所に保管するよう しく指示しました。

私はそれを むのが待ちきれませんでした。

2 、私はアフマドを自宅に招き、彼とイスラ ムについて会 しました。私は自分がクルア  
ンの真 性を信じていること、そしてムスリムになりたいということを彼に告げました  
。

その翌日、私たちは一 にワシントンDCのイスラミック センタ へ行き、改宗式を り行い  
ました。

改宗から数年 、アッラ は私にマディ ナ イスラ ム大学への留学という祝福をお与えにな  
り、そこで私はアラビア の 学士号とハディ ス学の学士号を得ることができました。

私のイスラ ム改宗 が、他の人 にとってもイスラ ムに改宗する良いきっかけとなってく  
れることを っています。また、私の改宗 によって同胞の兄弟 妹たちが、イスラ ムの真  
のメッセ ジを言 と行いによって周 の人 と共有してくれることも っています。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2846>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。